

「六段の調」テスト練習問題と過去問まとめ

※テスト練習問題は解説のあとにあります。

箏曲「六段の調」とは

「六段の調」の基本データ

作曲者:八橋検校(やつはしけんぎょう)

箏(そう・ことのこと)のための器楽曲(きがくきょく)※箏曲(そうきょく)

演奏形態:箏による独奏

ポイント①「箏」について覚えよう

箏とは、奈良時代に雅楽ががくの楽器として中国大陸(唐)から伝わった弦楽器。
本体は通常は「桐(きり)」で作られているよ。

雅楽(ががく)って何??

雅楽とは、日本の古典音楽のひとつ。

昔からある儀式や踊りなどで演奏される音楽のことだね。

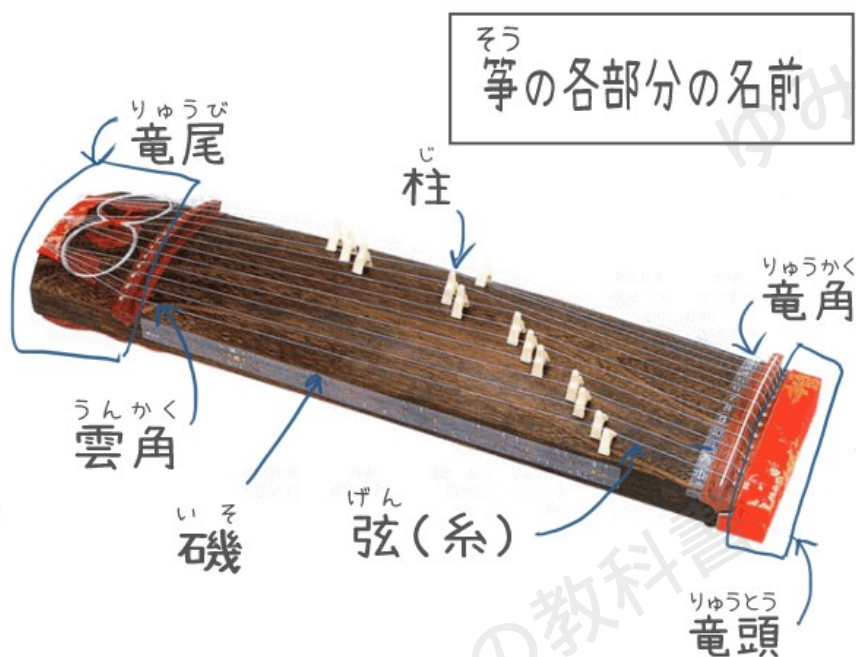
箏の各部の名称を覚えよう

箏は、全体を竜の姿に例えているんだ。

箏の各部分の名前も、竜の体の一部に見立みたてて呼ばれているよ。

箏の各部分の名前はテストでよく出るので、しっかり覚えよう!





爪 (つめ)

箏は、「爪」を指にはめて弦を弾（はじ）いて演奏するよ。

この爪は、流派（りゅうは）によって「角爪（かくづめ）」と「丸爪（まるづめ）」のどちらかを使うんだ。

流派というのは、カンタンにいうと「やり方とかスタイルによって分かれた集団」というイメージ。

箏の演奏の方法や、演奏するための道具で「生田流」と「山田流」という2つの流派に分かれているんだよ。爪の形によって、出る音色が変わるんだよ。

奏法（箏を演奏する方法）

箏を弾くときは、右手の親指・人差し指・中指に爪をはめて、弦げん（糸）を弾はじいて演奏するよ。

弦（糸）の名前【テストでよく出る】

箏には、弦（糸）が13本張はられているんだ。



弦にはひとつひとつ名前があって、演奏者から見て上（遠く）から順に

「一」「二」「三」「四」「五」「六」「七」「八」「九」「十」
 「斗（と）」「為（い）」「巾（きん）」

という名前がつけられているよ。

「斗・為・巾」はテストでよく出るよ！しっかり覚えよう！



調弦（ちょうげん）の仕方

調弦とは、音の高さを調節すること。

弦を使った楽器は、弦の長さによって出る音の高さが変わるよね。

なので、出したい音の高さになるように、弦の長さを調節するんだよ。

それぞれの弦に柱（じ）という部品を立てて、その柱の位置を左右に動かすことで、弦の長さを変えて音の高さを調節するんだ。

音色（おんしょく）や余韻（よいん）の変化

箏は、右手にはめた爪で弾（はじ）くだけでなく、左手も使って音の高さや余韻を変化させる方法があるよ。



楽譜には、弦の名前の横や上に、カタカナまたは記号で指示が書かれているよ。

1. 引き色

方法：左手で弦をつまんで柱の方に引きよせる

→音の高さが半音ほど下がってから元に戻る

指示：縦書きの楽譜の場合…「ヒ」と書かれる

横書きの楽譜の場合…同じく「ヒ」と書かれる

2. 後押し

方法：右手で弾いた後に、左手で弦を押す

→余韻の音の高さが上がる

指示：縦書きの楽譜の場合…小さい「オ」と書かれる

横書きの楽譜の場合…下のような記号が書かれる



3. 押し手 (で)

方法：左手で弦を押す

→音の高さが半音または全音上がる

指示：縦書きの楽譜の場合…「オ」と書かれる

横書きの楽譜の場合…「▲」の記号が書かれる

ポイント②調子について

「調子 (ちょうし)」とは？

調子とは、音の並び方のこと。

例えば、ピアノの音の並び方は「ドレミファソラシド (白鍵のみ)」と決まっているよ。

でも箏の場合は、柱 (じ) の位置によって この音の並び方を自由に設定することができるんだ。

そうやって設定された音の並び方を「調子」と呼ぶよ。

調子には、いろいろなパターンがあって、それぞれに名前があるよ。



六段の調で使われる調子は「平調子（ひらぢょうし）」というんだ。

これは六段の調の作曲者である八橋検校（やつはしけんぎょう）が確立かくりつ（あみ出した、というイメージ）した調子だ

ポイント③段物とは

箏曲の段物（だんもの）の代表的な曲。六つの段（部分）で出来ているんだ。

段物とは？

一曲がいくつかの部分（段）で出来ていて、歌が入らない曲を「段物」と呼ぶんだ。「調べ物」ともいうよ。

六段の調のそれぞれの段は、初段以外は同じ拍数になっているよ。

初段だけ導入部の4拍分が多くなっているんだ。

六段の調は、初段と呼ばれる最初のほうはゆっくり始まって、段が進むにつれてだんだんとスピードが速くなって行って、また最後はゆっくり終わるんだ。

こういう構成を「序破急（じょはきゅう）」というよ。

序破急は、日本の伝統的な音楽な特徴のひとつなんだ。

つまり、六段の調で1番スピードが早く演奏されるのは「六段目」だよ！

ポイント④八橋検校（やつはしけんぎょう）とは

八橋検校は江戸時代に活躍した音楽家。



検校とは..ものごとを調査して考えるという意味で、室町時代以降は、盲人の役職の最高の位の呼び名になっているよ。



でも「検校（けんぎょう）」は名前ではないよ。

検校とは、目が不自由な音楽家たちが所属した「当道（とうどう）」と呼ばれる職業組織の最高職位のことなんだ。

中学音楽テスト「六段の調」まとめ

★よく出るポイント★

- 六段の調は、段物の箏曲。
- 六段の調の作曲者は八橋検校
- 検校とは目の不自由な音楽家が所属した当道の最高職位
- 段物とは、一曲がいくつかの段に分かれているもので、歌の入らない器楽曲。
- 箏は、奈良時代に唐（中国）から伝わった弦楽器。
- 日本に伝わったはじめ、箏は雅楽を合奏するときの楽器として用いられた。
- 緩やかに始まり、段が進むにつれ次第に速度が増し、最後は緩やかに終わる構成を「序破急」と呼ぶ。
- 箏は本体が桐で作られ、13本の弦が張られている。
- 13本の弦の名前は演奏者から見て上から「一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・斗・為・巾」
- 柱を立て、左右に動かすことで音の高さを調節する。
- 右手の親指・人差し指・中指に爪をはめ、弦を弾いて演奏する。
- 爪には流派により角爪（生田流）と丸爪（山田流）がある。
- 六段の調で使われる調子は八橋検校が確立した「平調子」
- 引き色とは、左手で弦（系）をつまんで柱の方に引き寄せる奏法で、音の高さが半音または全音上がる。
- 押し手とは、左手で弦（系）を押す奏法で、音の余韻の高さが上がる。
- 後押しとは、右手で弾いたあとに左手で弦（系）を押す奏法で、音の高さが半音ほど下がってから元に戻る。



「六段の調」定期テスト対策問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 六段の調を演奏するときに使われる楽器を答えなさい。

問2 問1の楽器は、何時代にどの国から日本に伝わったか答えなさい。

【時代】

【国】

問3 問1の楽器は、通常どのような木材で作られるか答えなさい。

問4 六段の調のように、一曲がいくつかの部分から作られている曲をなんと呼ぶか答えなさい。

問5 六段の調を作曲した人物を漢字で答えなさい。

問6 六段の調で使われる調子の名前を答えなさい。

問7 箏を演奏するとき、爪はどの指にはめるか、3つ答えなさい。

問8 爪には、流派によって形が2種類あるが、それぞれの爪の名前と、使われる流派の名前を答えなさい。



問 9 六段の調のように、はじめはゆっくり、段が進むにつれて次第に早くなり、最後は緩やかに終わる構成をなんと呼ぶか漢字で答えなさい。

問 10 箏で使われる 13 本の弦のうち、演奏者から見て 1 番下から上に向かって 3 本の弦の名前を順に漢字で答えなさい。

問 11 八橋検校は、体のどの部分が不自由だったか答えなさい。

問 12 次の奏法の名前をそれぞれ漢字で答えなさい。

ア：右手で弦（糸）を弾いたあと、左手で弦を押す

イ：左手で弦（糸）を押す

ウ：左手で糸をつまんで、柱の方へ引き寄せる

【ア】

【イ】

【ウ】

問 13 次の効果は、どの奏法によって得られるものか答えなさい。

ア：音の高さが半音または全音上がる

イ：音の余韻の高さが上がる

ウ：音の高さが半音程度下がってから元に戻る

【ア】

【イ】

【ウ】



「六段の調」定期テスト対策問題（解答）

問1 箏

問2 【時代】奈良時代
【国】唐（中国）

問3 桐

問4 段物

問5 八橋検校

問6 平調子

問7 ・手の親指
・差し指
・指

問8 ・角爪：生田流
・丸爪：山田流

問9 序破急



問 10 巾・為・斗

問 11 目

問 12 【ア】 後押し
【イ】 押し手
【ウ】 引き色

問 13 【ア】 押し手
【イ】 後押し
【ウ】 引き色

